

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成29年11月24日(金)発行 第 31 号 発行責任者:高橋 弘悦

1年生が健幸クラブ慰問



21日、1年生の4名が健幸クラブの例会を訪問し、創作劇「白虎隊」を演じてきました。参加されたお年寄りも、涙を流しながら喜んでくださり、「地域と共に歩み、地域に貢献する西山中学校」としての役割を立派に果たしてくれました。

この創作劇は、もともと授業の一環として、1年生が練習を繰り返してきたもので、「登場人物の心情を考え、自分の思いを表現する」「声量、間、ことばの抑揚や語句の選択を、目的・相手意識を明確にして考え、表現活動に生かす」というねらいがあります。

1年生の4名は、文化祭で発表したものを、その後の授業でさらにバージョンアップさせ、この日の発表に備えてきました。発表の場が持てる本校の生徒にとっても、学習の成果を間近で楽しめるお年寄りにとっても、大変意味のある企画となりました。

箏のミニ発表会

16日、音楽の授業で練習を重ねた箏のミニ発表会が開かれました。日本の伝統的な楽器「箏」を用いて、1年生が「さくらさくら」を演奏しました。



第29回ふくしま駅伝

19日、県内で最大のスポーツイベント「第29回ふくしま駅伝」が、白河陸上競技場から福島県庁までの16区間95.1kmで開催され、本校から参加した4名の生徒がそれぞれの役割を立派に果たし、柳津町の29回連続出場に貢献しました。

1区は、各チームのエース級的女子が集う区間。この区間には、本校から2年生の渡部未蘭さんがエントリー。予想を上回る快走で2区に襷をリレー。



しらかわ陸上競技場を出る未蘭さん



サンフレッシュ白河で襷リレー

二本松安達支所からの14区5.7kmには、3年生の金子天斗くんがエントリー。繰り上げ一斉スタートの区間でしたが、無事その任を果たしました。

菊地真生さんは、昨年の経験を生かして15区の補助、金子紬さんは兄・天斗くんの補助を立派に務めてくれました。



今回の「読み聞かせ」は蜘蛛の糸

今回の渡部敬子先生による読み聞かせは、学校の教科書にも載っていて、教材としても使われる芥川龍之介の『蜘蛛の糸』でした。

ある日、御釈迦様が極楽を散歩中にふと地獄を覗いてみると、そこでカンダタという男がもがき苦しんでいるのを発見する。そしてそのカンダタの生歴を振り返ってみると、1度だけ「蜘蛛を助けた」という善行を思い出す。

その善行1つをピックアップして御釈迦様は、このカンダタを地獄から救い上げようとして、蜘蛛の糸を1本、天界から地上に下ろす。糸が下ろされた瞬間、カンダタをはじめ他の罪人たちもこぞって集まり始め、その「救いの糸」を奪い合ってしまう。

「この糸は俺のものだ！下りろ！」

と自分と同じようにする罪人たちを糸から地上（地獄）に落とし始めた。

そうしているうちに糸が切れ、カンダタは他の罪人たちと一緒にまた地獄へ落ちてしまった。

その様子を見ていた御釈迦様は「自分だけ助かろうとしたカンダタ」を浅ましく思い、悲しそうな顔をして、地獄を覗ける蓮池から去ってしまった。

何度読んで（聞いて）も、いくつになってもいろいろな解釈ができる名作です。生徒たちも真剣な顔で聞き入っていました。

うちどくりレー開催中です。ご協力よろしくお願いします。

